

龍の口から水月園までの環境整備事業

◆事業の目的・背景

御柱大祭以降、観光客の街歩きが浸透し、「伏見屋邸」などの史跡を歩いて巡る方々が増えているが、「水月園」等の歴史・文化・観光スポット周辺を歩いて巡る環境は十分なものではない。そこで、観光客や町民が気軽に町内の歴史や文化に触れ、楽しくまち歩きができるように、歴史文化の拠点とそれを結ぶ導線の安全環境を整備する。



◆チャレンジ事業支援金の活用実績

活用年度	事業内容	支援金額
平成29年	・龍の口から国道142号までの慈雲禅寺参道階段の右側に手摺り全長76m、支柱1mのものを35本設置 ・階段中間部から矢除け石の参道石積み補修整備	760,000 円
平成30年	・石階段に前年と反対側に手摺りを設置 ・石段横石垣上部に玉竜の植栽 ・稻荷堂から矢除け石間の石積の整備	1,290,000 円
令和元年	・歩きづらい階段の解消 ・慈雲寺周辺の桜、紅葉をライトアップ ・『龍の口いわれ』看板の設置	1,000,000 円

◆事業成果

- ・石段の手摺りは利用者から「安心できる」との声を聞いている。
- ・古き良き場所「お不動様」「稻荷大明神」が祀られている所を訪れる観光客が多く、安全に観光していただくために擬木を使った柵を設置し、安心して散策通行できるようになった。
- ・散策路の階段は段を低くし、木材チップで保護したため利用者からは「歩きやすくなった」という声を聞くことができた。

◆工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・今後も引き続き軽微な整備、草取りなどは現会員の協力で実施していけるようにする。